

## 令和3年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	千葉大学、芝浦工業大学	タイプ	A①
事 業 名	ソーシャル・デザイン・イニシアティブ		
海外の相手大学	浙江大学、延世大学校、マヒドン大学、キングモンクット工科大学トンブリ校、マレーシア工科大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、エンジニアでありソーシャル・デザイナーであるという、次世代で必要となる「創造型人材」の育成を目指している。この実現のため、企業や自治体との連携や、フィールドスタディによる実践型演習を重視して、現場レベルの課題を題材とするPBLの根幹となる現実志向を貫いているプログラムとなっており評価できる。「ウィキッド課題」に対する具体的な課題認識を踏まえ、更にその課題に対峙するための緻密かつ現実的な計画と、立案事業運営体制の準備が進められており、経験値と知見が活かされている。また、本事業を推進する上で、これまでのキャンパス・アジアプログラムでの豊富な実績を活かし、環境整備、大学間連携、国内外への情報提供等の更なる改善点についても配慮がなされた計画である。

本事業のカリキュラムでは、「巡回型演習科目群」を設置し、本事業「SDI-A(ソーシャル・デザイン・イニシアティブ)」に関係する教員全員が参加学生の評価付けの過程に参加し、厳正に成績評価を行うといった学びの質の保証を担保するメソッドをはじめ、ソーシャル・デザイナーの育成に関わる成果を測る定量・定性的両面での目標設定・基準の設定手法の確立を必須とする計画となっている。他大学機関等においてPBL型の教育実践を波及させるためにも、本事業のアウトプットの対外的な発信と情報の共有が積極的に展開されることを期待する。

本事業が輩出する人材は、これからの新しい社会のニーズを反映するものである一方で、本事業修了生（ダブル・ディグリー修了者）の確実な出口戦略についても、出口保証がない場合、事業参加学生の動機維持、そして事業自体のサステナビリティを担保することが難しいため、平行してプロアクティブに取り組む必要がある。また、デザイン・イノベーターの能力を国内外企業においてどのように評価してもらい、日本人学生・留学生共に彼らのキャリア・サポートをどのように行うのかという側面についても、本取組で検討し、工夫されることを期待したい。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。